

## 第2回教育部研修会報告書

平成26年度教育部研修会を開催しましたので、以下にご報告させていただきます。

日 時：平成26年10月5日（日） 9時30分～12時30分

テーマ：「義肢装具作成における苦悩や創意工夫

～プロフェッショナルとしてのあり方～」

講 師：引地 雄一 先生（エムサポート）

会 場：山形医療技術専門学校

参加者：11名

スタッフ：山口広樹（篠田総合病院）、五十嵐光（鶴岡協立病院）

菅原麻理子（日本海総合病院）、栗野ひろみ（介護老人保健施設みゆきの丘）

研修内容：同じ医療職の専門家として、義肢装具士の臨床経験談や仕事へ取り組み姿勢などを学び、それを理学療法士としての成長の糧とする。

義肢装具士の立場から、製作が困難だった装具や義肢の作成例のほか、研究開発の一部を紹介していただきました。また、現在の義肢装具士を取り巻く環境のなかで、いかにしてモチベーションを保ちながら仕事に取り組んでいるのか、先生の考え方をお聞きしました。



その後、グループワーキングを行いました。今回は、拡散型・発散型、ワールドカフェ方式とも言われる形式をとり、個人個人が感じたことやプロフェッショナルとしてのあり方などの意見を出し合いました。最後に、今後自分がしていくことを言葉に出して紹介し合い、全員が月曜日から楽しく仕事ができる気分となり、研修会は終了しました。

